

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2014-202892(P2014-202892A)
 【公開日】平成26年10月27日 (2014.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報2014-059
 【出願番号】特願2013-78412(P2013-78412)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 19/00 (2013.01)

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 1 0 L 19/00 3 1 2 E

H 0 4 R 3/00

【手続補正書】
 【提出日】平成27年12月14日 (2015.12.14)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

上述した中高周波数帯域及び低周波数帯域の音データをミキシングする態様では、前記ミキシング手段は、前記中高周波数帯域の音データをクロスフェードにより混合すると共に、前記低周波数帯域の音データを連結させてもよい。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 5 7 】

これに対し本実施例では、前曲の中高周波数帯域成分と次曲の全周波数帯域成分とが互いにミックスされる。従って、2 の楽曲の低周波数帯域の音データの拍位置が互いにずれてミックスされることによる違和感の発生を好適に防止することができる。